

## SSH通信

科学技術の発展を担う高い志を持った「人財」の育成を目指す

つるなんSSH通信

平成24年度 第2号

2012 夏のSSH SSHがスタートした初めての夏休み。多くの生徒が科学に触れ活躍しました。

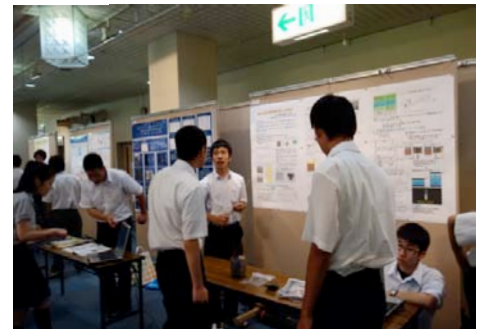
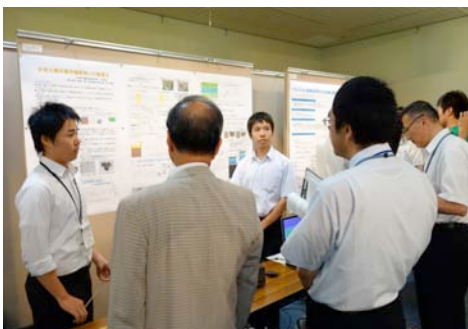
## 祝 科学部 文化庁長官賞

8月10日～12日、富山県入善町で開催された第36回全国高等学校総合文化祭自然科学部門でポスター（パネル）発表を行い、審査により文化庁長官賞を受賞しました。この賞は文部科学大臣賞に次ぐ賞です。「水田土壌の微生物を用いた発電」の研究は、科学部で3年前から取り組んできたもので、山形大学農学部加来伸夫准教授のご指導・ご協力をいただきながら進めてきました。今回は、これまで微生物発電のメカニズムの解明に取り組んできた成果を、その集大成として発表してきました。

ポスター発表は3年の南葉一輝、早坂亮祐、2年の田中良樹、奥山慧、安達景都で協力して行いました。2日間に何十回もポスターの前で発表し、質問に答えることで、自分たちの研究を多くの方に伝えることができました。



平成24年8月22日 庄内日報 より



## バイオサミットin鶴岡

2012年8月5～7日に第2回高校生バイオサミットin鶴岡が いこいの村庄内および慶應義塾大学先端生命科学研究所で開催されました。5日(日)は事前の書類による審査を通過した42の研究テーマでの、ポスター発表による予選が行われ、6日(月)には予選を通過した12テーマによる決勝が行われました。7日(火)は表彰式が行われました。本校からはTNP研究生と科学部が発表者または一般参加者として参加しました。発表者と結果は以下の通りです。

### 研究発表テーマと結果

#### 優秀賞

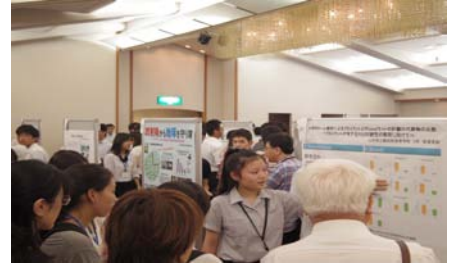
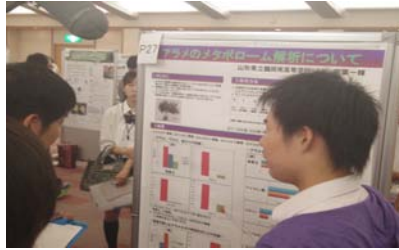
- ・早坂亮祐 (3-1) 可食植物スベリヒユの有効活用を目指したメタボローム解析

#### 鶴岡市長賞

- ・齋藤元文 (2-2) 抽出状態の違うホップポリフェノールによる抗菌性について
- ・科学部 発表者田中良樹 (2-3) 水田土壌の微生物を用いた発電の研究

#### 予選出場

- ・安達景都 (2-1) メタボローム解析によるTHAラットとWistarラットの肝臓の代謝物の比較～THAラットが有するNASH耐性の解明に向けて～
- ・南葉一輝 (3-1) アラメのメタボローム解析



鶴 南 ゼ ミ

## 科学の祭典・科学の体験教室

8月5日に鶴高専が主催する『科学の祭典』と18日にイオン三川で『科学体験教室』が行われ、山形大学産学連携教授菅原晃先生にご指導いただいている"科学の祭典ゼミ"の生徒が参加しました。

### スライム作り体験

私はゼミの活動の一環として、三川にあるイオンショッピングモールでスライムの作り方を小さな子たちに教えました。教え始めた頃は緊張していることもあり、うまくスライムにならないこともありましたが、子どもたちに楽しさを伝えられたと思います。また、私も小さい子への説明の仕方や話し方などを学ぶことができ、とても充実した体験となりました。私たちは目標の一つとしてスライムマイスター初級の取得を目指しています。この体験を活かして次の活動につなげたいと思います。

(2-2 長谷川 大)

